

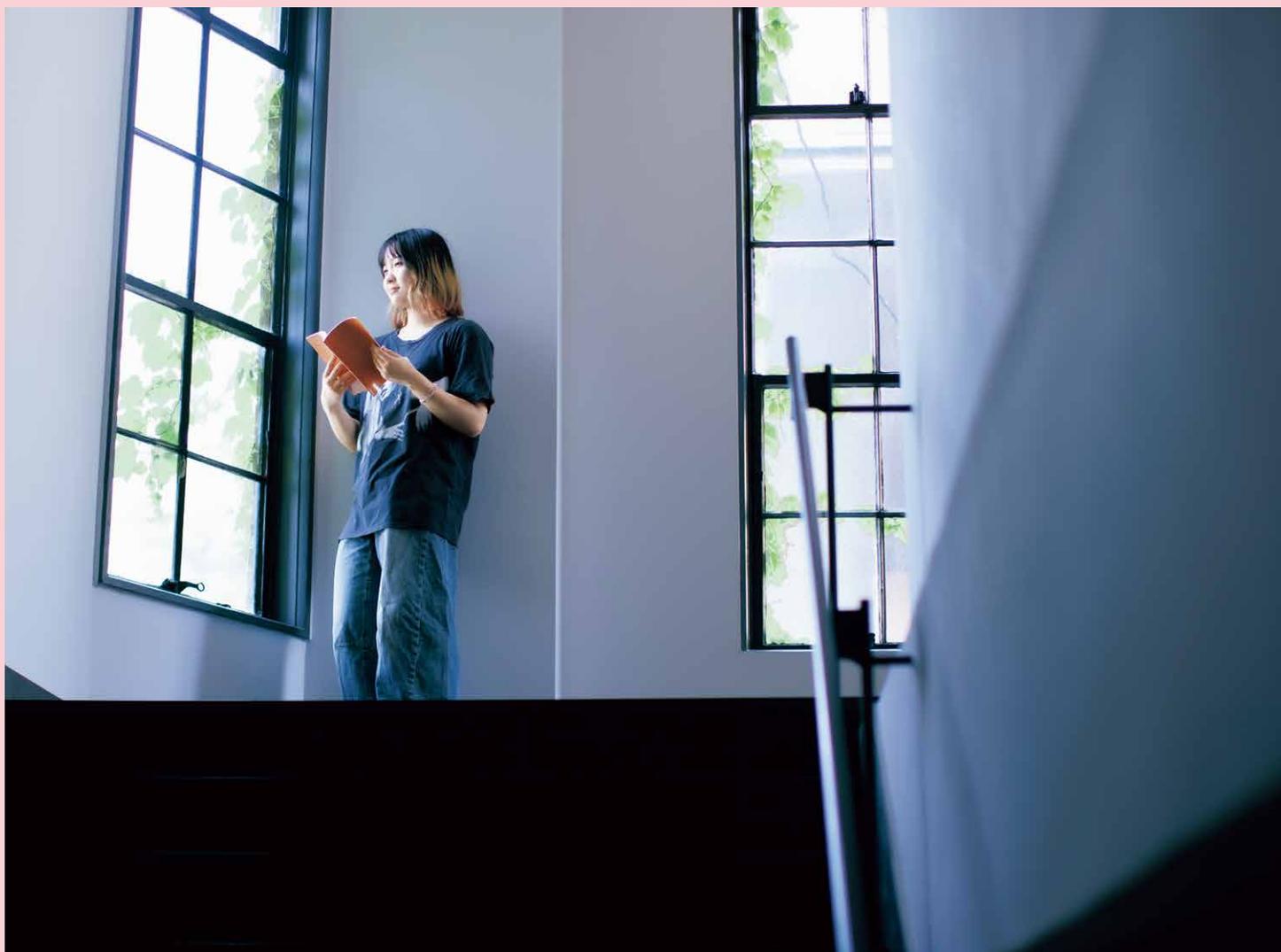
# AG PRESS

大学がより

vol.232

2026  
MAR.

3



location: 法人本部棟(楠元キャンパス)

[ 特集 ]

愛知学院創立150周年記念事業

## シャチ活チャレンジ応援金 採択コンテスト

学位授与を祝して / 卒業生へ贈る言葉 / 就職活動体験記

AG NEWS FILE / 150th NEWS FILE



2026年、愛知学院は創立150年を迎えます。

# 学位授与を祝して



## 他者と調和し 自己を見失わず

愛知学院大学 学長  
愛知学院大学短期大学部 学長

木村 文輝

大空を翔る天馬のごとく  
大きく飛躍してください

「白馬、蘆花に入る」という禅の言葉があります。白い馬が二面の白い蘆の花の中に入ると、両者が混然一体となつて見分けがつかなくなるように、とらわれの心から離れた者にとっては、自他の区別や対立を越えた安らぎの境地が得られることを示す言葉だと解釈されています。大学を卒業する皆さんは、これから社会に巣立っていきます。その新しい環境で、自己主張ばかりをしていては、おそらく周囲の人々と衝突を繰り返し、やがては居場所を失うでしょう。他者に教えを乞い、他者との調和を目指しながら、日々を送ることが大切です。

しかしながら、この言葉には別の解釈も存在します。たとえ両者の見分けがつかなくても、馬と蘆の花が異なる存在であることは確かです。それと同じように、自身と他者は同じ存在ではありません。たとえ調和のとれた環境にしようとも、自らの意思を持つことなく、単に組織の歯車でしかいられない人は、いずれは不要の者となり、やはり自らの居場所を失うことになるでしょう。そうならないためには、自らの知識や経験にもとづいて、自ら考え、判断し、行動できる

存在でなければなりません。

一方では周囲に溶け込むことを説き、他方では自己を見失わないことを説く。一見すると矛盾しているようですが、その両立は決して難しいことはありません。周囲をよく観察し、自他の違いを見極めながら、自らが周囲の人々やものに支えられ、同時に、自らも周囲に影響を及ぼしていることを自覚する。そうすれば、おのずから、他の人々の思いに心を寄せるとともに、他の人々の立場にたつて物事を考えることになるでしょう。さらに、その考えたことを実践し、実践しながら、またその先を考える。これが、本学の建学の精神である「行学一体」「報恩感謝」の境地です。学生時代にその意味を十分に理解できなかった人も、社会の中で、その大切さを実感する時が来るでしょう。その時にこそ、愛知学院大学の卒業生であることに、自信と誇りを持つてほしいと思います。

時あたかも、本年は愛知学院創立150周年にあたります。未来に向けて飛翔を続ける本学を、これからは卒業生として支えていただきたい。そして、皆さんもまた、大地を疾走する白馬のごとく、あるいは、大空を翔る天馬のごとく、大きく飛躍されることを祈念します。ご卒業、おめでとう。丙午の年の門出にあたり、心からのほなむけを贈ります。



学校法人愛知学院 理事長  
龍谷 顯孝

## 一人ひとりが『主人公』

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。これ迄支えてこられた保護者の皆様、御同慶に堪えません。

一炊の夢とも例えられる短かい人生の、一番大切な青春の日々を愛知学院で信頼出来る先生方、心を許せる大事な友人と交流を深め、学業に励んでこられたものと思います。

「無門関」という書籍に、唐の時代の瑞巖和尚の『主人公』という公案があります。和尚は座禅中に自分自身に呼び掛けて「主人公起きてるか?」「ハイ」「だまされていないか?」「ハイ」と自問自答していたという話です。これから社会に出て一人になった時、生成A1を友人替りに、あるいは恋人替りにすることもあるかも知れません。その時に、表面上の自分の趣味嗜好に合わせた心地良い返答を受けて、自分を見失う恐れがあります。「主人公」「目をさましているか?」「主人公」「だまされていないか?」と自問自答しながら、どんな立場でも、どんな役職でも一人ひとりが『主人公』として大いに活躍されることをお祈りし、お祝いの言葉といたします。



愛知学院大学同窓会連絡協議会議長  
法学部同窓会 顧問

中津 範明

## 一生語り合える「友」は財産

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今日まで支えてこられました保護者の皆様にも、すべての同窓会、同窓生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

学生の皆さんは、厳しい環境をのりこえて、社会に第一歩を踏み出そうとしています。卒業とは終わりではなく次へのスタート。何事にも負けずにがんばる姿こそが「学院魂」です。未来はあなたのためにあります。

建学の精神である「行学一体」「報恩感謝」の理念を忘れず、自らの可能性を信じ、明るい未来を創造し社会に貢献し歩みを進めて下さい。本学での学びを通じて人を思いやる「ころ」にも、目を向けたいと思います。楽しかったこと、苦しかったこと、全ての思い出に「友」が出てくるでしょう。人生をともに語り合える友人は、あなたにとって大切な財産です。心強い同窓生は、全国に15万人もいて、社会の先輩として見守ってくれます。これからも一層の努力をされ、素晴らしい社会人になることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



愛知学院大学後援会 会長

柴田 軒吾

## あなたの人生はあなたが主役です!

卒業生の皆様、ならびに支えてこられた保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

平成5年卒の私にとりましても、皆様を社会の新たな仲間として迎え入れることは大きな喜びです。社会には多くの同窓生が活躍しています。ぜひ先輩たちを頼ってください。

私は「スチューデント・ファースト」を掲げ、学生支援に努めてまいりました。社会という新たな舞台でも、皆様には自らの人生の「主役」として、自信を持って輝き続けてほしいと願っています。

不透明な時代ではありますが、まずは皆様自身が幸せになり、その喜びを周囲へと広げてください。その姿勢こそが、本学の精神「行学一体」「報恩感謝」の体現となります。母校で培った知見と絆を糧に、一歩前へ踏み出す勇気を持ってください。皆様の未来が光り輝くものであることを心より祈念いたします。

## 文学部長



### 学びを、未来への扉に

伊藤 雅之

皆さん、ご卒業おめでとうございます。文学部での4年間、文献を読み解き、議論を重ね、考えを言葉にする力を培ってきたことと思います。その力は、これからの人生を支える土台となるはずですが、人生はここからのほうがはるかに長い。大学で学んだことは出発点にすぎません。社会に出れば、予想外の課題や新しい出会いが待っています。挑戦を恐れず、学び続けてください。「問いを立て、考え抜く力」を糧に、自分自身を更新し続けてください。今後のご活躍を心よりお祈りしております。

# 卒業生へ 贈る言葉

Message to Graduate

## 健康科学部長



### 小さな一步の積み重ね

杉浦 春雄

ご卒業おめでとうございます。学問に向き合った日々、多様な経験、かけがえのない仲間との出会いが思い起こされるでしょう。それらは、今後の人生において皆さんを静かに、しかし確かに支え続ける礎です。本学で過ごした歳月は、皆さん自身が努力と挑戦によって築き上げてきた成長の軌跡。その歩みは、社会へ羽ばたくに足る力を備えていることの証左です。これから先も歩みを止めず小さな一步を積み重ねてください。それが、新たな未来を切り拓く確かな道となります。皆さんの可能性は無限です。

## 心理学部長



### かけがえのない伴走者

高木 浩人

ご卒業おめでとうございます。4年前の新学部創設時、この学び舎に集った皆さんが、大学生生活を終えて社会へ出て行かれるこのときを、学部教職員一同特別な思いで迎えています。新しくなったカリキュラムが走り始め、試行錯誤のときもありました。思えば皆さんと私たちは伴走者のようでした。ともに動かし始めたこの学部を、時には思い出し、時には見に来てください。社会に出て、臆せず新しいことに取り組んでください。気がつけば、かけがえのない伴走者が隣でほほえんでいるかもしれません。

## 経営学部長



### 感謝の心を大切に

古澤 和行

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この日を迎えるまでには長く険しい道のりがあったことと思います。この道のりの中には、自分だけでは乗り越えることが難しかった場面も少なくなかったのではないのでしょうか。そのような場面でもらった家族や友人、周りの人たちの支えや協力に対して感謝する心を忘れずに持ち続け、これからは自分自身が受けた支えや協力以上のものを周りの人たちに社会に返していくことできる人物になってもらえればと願っています。今後のご活躍を祈念しております。

## 商学部長



### 新たな舞台へ 踏み出す皆さんへ

伊藤 徳正

卒業おめでとうございます。社会へ踏み出す皆さんを心から祝福します。新しい舞台には、多くの出会いと挑戦、そして喜びが待っています。本学が大切にしてきた「行学一体」の精神を胸に、思い切って前へ進んでください。また、支えてくれた人への「報恩感謝」の心を大切にしてください。大学は、迷った時や疲れた時だけでなく、うれしい報告を持って訪ねられる「いつでも帰れる場所」です。成長した姿を見せに、どうぞ気軽に足を運んでください。商学部はこれからも皆さんを応援しています。

## 法学部長



### AI時代の「理窟と人情」

鈴木 伸智

ご卒業おめでとうございます。先日、AI時代の仕事という記事を目にしました。倫理的・道徳的な判断が必要な仕事は、AIの不得意な分野の一つだそうです。かつて、民法学の大家であった我妻栄先生は、「杓子定規は法律の生命」と仰いました。一方で、「理窟と人情、ともに法律の生命である」とも仰っています。杓子定規でありつつも人情を忘れない、そのような判断の仕方を学んできたみなさんであれば、AIに取って代わられることはないでしょう。ご健勝をお祈りいたします。

## 経済学部長



### “腹心の友”とともに歩む人生

渡邊 隆俊

期待に胸をふくらませて入学したあの日から今日まで、皆さんは本当によく努力されました。日々の勉学に向かう真摯な姿勢が、卒業要件を満たす単位の修得につながり、その成果が本日手にした学位記として結実したのです。しかし、皆さんが得たものはそれだけではありません。学生時代にともに学び、クラブやサークル活動などを通じて築いた友情は、形の無い、唯一無二の貴重な財産として、これからの人生で心の支えとなることでしょう。くれぐれも健康に留意し、明るく充実した人生を歩んでください。

各学部の先生方から卒業生へのメッセージです。

薬学部長



未来を拓く  
薬のプロフェッショナルへ

安池 修之

ご卒業おめでとうございます。在学中、喜びに満ちた瞬間もあれば、困難に直面する場面もあったことでしょう。それらを乗り越え、皆さんは確かな成長を遂げました。培った知識・技能・態度、仲間との絆は、新たなステージで必ず大きな力となります。学びと経験を胸に、自信と勇気を持って力強く歩んでください。医療をはじめ、社会の環境は急速に変化し続けています。柔軟な発想と専門性を生かして未来を切り拓き、薬を通して医療を支え、社会に貢献していくことを心から期待しています。

総合政策学部長



自分の道を自分らしく歩む

杉山 知子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。「行学一体」「報恩感謝」の建学の精神のもと、総合政策学部で過ごした4年間。ここで皆さんは、自ら考え実践していく主体性と、仲間同士や先輩・後輩で協力し合うチームワークの大切さについて学んだと思います。この経験の蓄積は、社会人になってからもあらゆる場面で皆さんの糧になるでしょう。卒業後も、皆さんは愛知学院ファミリーの一員です。この縁を大切に、自分の道を自分らしく歩んでいってください。皆さんの将来のご多幸を祈念します。

歯科衛生学科長



プロフェッショナルを極める

犬飼 順子

ご卒業おめでとうございます。本学を卒業し晴れて歯科衛生士になった皆さんは、多くの知識や技術を身につけ、歯科医療のプロフェッショナルの一員として活躍することになります。しかし、プロとしての道は、ここからがスタートです。日々バージョンアップする医療技術や新しい知見、社会のニーズに対応できるよう、常に自己研鑽を積んで、プロフェッショナルの道を極めていきましょう。歯科医療の専門職として、多くの人々の健康と幸せづくりに貢献されることを期待しています。

歯学部長



新たな道を切り拓き、  
未来を創る

本田 雅規

卒業にあたり、皆さんの努力と情熱に深く敬意を表します。歯科医師は、知識と技術に加え、人に寄り添う心と確かなプロフェッショナリズムが求められる専門職です。明確な目標を持ち、新しい知識と技術の習得に努め、失敗を経験として受け止めながら挑戦し続けてください。その姿勢こそが、患者さんの笑顔と未来を支える力となります。先人の言葉「未来を予測する最良の方法は、自分で未来を創ることだ」を胸に、自信を持って歩みを進めてください。皆さんの限りのない成長と幸せを願っています。

令和7年度表彰者

●管長賞

宗教学科	歴史学科	英語英米化学科	日本文化学科	グローバル英語学科	心理学科	健康科学科	健康栄養学科	商学	経営学	経済学	法学	現代社会学科	総合政策学科	医療薬学科	歯学	歯科衛生学科
中島 佳奈	安江 まなみ	バルチオトジネカモ	鈴木 祐佳	伊藤 美沙希	湯佐 文音	渡邊 彩花	鈴木 いくみ	西山 藍	永田 詩央里	平 遼太郎	星 朱菜	柿元 美優	塚本 葉月	山本 真衣	中嶋 美緒	阪口 菜悠

●初代学長小出有三賞

宗教学科	歴史学科	英語英米化学科	日本文化学科	グローバル英語学科	心理学科	健康科学科	健康栄養学科	商学	経営学	経済学	法学	現代社会学科	総合政策学科	医療薬学科	歯学	歯科衛生学科
浅見 龍希	伊藤 凌汰	塚本 海南美	戸田 未希	渡邊 莉彩	伊藤 美和	徳田 香織	岡本 愛梨	梅屋 丞生	廣川 果沙実	正 夢	三 信斗	荒川 陽由	西川 さくら	菅 琴実	久保 萌子	中島 綺星

●学長賞

宗教学科	歴史学科	英語英米化学科	日本文化学科	グローバル英語学科	心理学科	健康科学科	健康栄養学科	商学	経営学	経済学	法学	現代社会学科	総合政策学科	医療薬学科	歯学	歯科衛生学科	専攻科					
榎原 愛	兼松 泰弘	萩原 大和	大島 萌莉	高野 あすか	新高 うらら	太田 彩響	津田 理沙子	楠本 りさ子	後藤 相乃	奥野 花奈子	間瀬 友都	平賀 柚巴	三 星 廉	竹内 柚稀	柴山 明日香	小野 愛果	河合 章太	倉本 詩月	大岩 恭子	外山 綾乃	鈴木 佳奈	三浦 杏花莉

●医療薬学科  
臨床実務実習優秀賞

桑原 雅佳	伊藤 里緒
-------	-------

●歯学科臨床実習優秀賞

磯村 明子	中尾 日向子
-------	--------

●歯科衛生学科  
臨床実習優秀賞

永田 一真	古森 有希
-------	-------

# REPORT

内定獲得への道

## 就職活動体験記

今春、社会人としてスタートする学生に就職活動を振り返ってもらいました。

### 心理学部



校内企業説明会で多くの  
企業と出会い視野が広がった

高橋 祐貴

内定先 愛知時計電機株式会社

就職活動に役立ったのは、学内で開催された合同企業説明会です。キャンパスが会場なので参加しやすく、さまざまな業界や企業の話を通じて直接聞くことで視野が広がり、想定していなかった業界に興味を持つきっかけにもなりました。内定先は、ガス・水道関連の計測機器などの精密機器メーカー。企業選びを進める中で、先輩社員の人柄や職場の空気感が自分に合っていると感じ、志望しました。入社後は、自社製品の提案・販売に携わる予定です。心理学部での学びを通して偏見や差別の原因・問題について考え、多様性を尊重する意識を持ったことが、営業職に必要な「他者視点に立つ」素養につながったと思います。

### 文学部



身につけた英語力・対話力を  
鉄道サービスにつなげたい

大熊 基弘

内定先 東海旅客鉄道株式会社

英語英文学科では国際問題や国際事情に触れる機会が多く、グループ討論などを通して立場や価値観の違いを認め合い、文化理解を深めました。また、ゼミでの研究活動を通して企業の方から話を聞いたり、プレゼンテーションやパソコンのスキルを習得し、実践力も身についたと思います。内定先は、東海道新幹線という日本の大動脈を支える鉄道会社です。外国人教員による「Oral Communication」や「Culture through English」で養った対話力・英語力は、外国人旅行者のニーズの正確な把握と適切な対応に生かせるはず。また、ゼミや卒論で培った分析力や課題解決力も、現場での判断やサービス解決につながりたいです。

### 総合政策学部



就活は情報戦、企業情報が集まる  
キャリアセンターが役立った

石川 萌

内定先 アルフレッサ株式会社

「人の役に立ちたい」という思いを軸に就職活動をスタート。業界研究をする中で、より社会貢献度の高い仕事に魅力を感じ、医療業界を目指すようになりました。内定先は医薬品卸・医療総合商社。病院や調剤薬局などの既存顧客に向けた営業職に就く予定です。総合政策学部では、グループワークのほか学年を越えて多様な人と関わる機会も多く、将来必要な主体性やコミュニケーション力が養えたと思います。就職活動は情報戦。就活生や企業の情報が集まるキャリアセンターは、大きな支えでした。また、愛学生専用の就職情報サイト「AGUキャリアナビ」に掲載された先輩の就職体験記も、とても役立ちました。

### 心身科学部 (現・健康科学部)



部活や就活で養った  
ロジカルな思考力で狭き門を突破

大坪 俊汰

内定先 株式会社サイバーエージェント

3年生の春まで野球部の活動に熱中して、視野が狭かった僕。そのため、まずは将来、自分がどうなりたいかをよく考えてみると「街をつくりたい」というビジョンが見えてきました。そして挑戦したIT企業は、応募者65,000人に対し内定者200人という狭き門。多数のライバルに勝つための戦略を立て、自分のビジョンに対する解像度を上げて企業とマッチするポイントを面接で論理的に伝えたと、内定につながりました。目標達成に向けた「逆算思考」を部活や就職活動を通して身につけ、ロジカルな思考力を養えたからだと思います。将来は、仕事を通して新しい文化を築き、多くの人の幸せに貢献したいです。

### 経営学部



ビジネスコンテストで準優勝  
学びや経験を就活で発揮

佐川 祈

内定先 株式会社ファーストリテイリング

愛知学院大学を選んだのは、人脈は財産だと考えたから。他県からの入学者も多い幅広い人とつながれること、卒業生には企業の経営者が多く、授業を通して直接話を聞けることが魅力でした。経営学部の学びでは、消費者として無意識のうちに経験していたマーケティング手法などを知り、企業や商品の見方が変わりました。ゼミではSDGsに関連する新事業を立案し、学生による世界最大級のビジネスコンテスト「ハルトプライズ」で準優勝。学びや経験を生かして、採用面接やグループディスカッション、インターンシップでの発言により具体性を持たせるなど、就職活動にも効果がありました。

### 商学部



企業別の面接対策を重ね  
本番で自分の強みを発揮できた

恩田 明

内定先 大和証券株式会社

証券業界を志望したのは、ゼミで取り組んだ投資コンテストや企業分析ディベート大会がきっかけ。資本市場の重要性を学び、企業や地域の成長を支えたいと考えようになったのです。そこで、インターンシップの段階からキャリアセンターのサポートを受けました。エントリーシート添削では、考えをうまく言語化するための端的な表現を教えていただき、模擬面接では的確なフィードバックをもとに企業ごとの対策を重ねたことで、本番でも自分の強みを最大限発揮できたと思います。入社後は、お客さまの思いを大切に、共に将来を考えながら最適な提案ができる人材になることを目指します。

## 卒業生の主な就職内定先

一覧はホームページをご覧ください▶

<https://navi.agu.ac.jp/career/naitei/>



### 法学部



実際の判例を通して学んだことが  
損害保険業務で生かせそう

向井 滯菜

内定先 損害保険ジャパン株式会社

保険は目に見えない商品だけど、生活の中で身近なもの。人々の生活や社会を支える仕事ができることに魅力を感じ、損害保険業界を目指しました。就職活動で特に役立ったのは、キャリアセンターのエントリーシート添削です。文章の弱点や伝わりにくい表現を指摘してもらい効果的なエントリーシートを書けただけでなく、面接で自分の考えを伝える力も養えたと思います。将来、役立ちそうなのは「損害賠償と法」の授業での学び。実際の判例を通して身につけた、事故やトラブルを公平に分析し責任の所在を考える力は、お客さま一人ひとりの状況を正確に捉え、最適な補償を提案する際に生かせると思います。

### 経済学部



女性活躍推進に関するゼミ研究が  
そのまま企業研究になった

林 桜花

内定先 スカイマーク株式会社

通いやすい立地やきれいなキャンパスなど学びの環境が整っていること、就職率の高さと手厚いサポート体制に安心感を抱き、入学を決めました。経済学部で学んでよかったことは、社会で役立つ幅広い知識を身につけられた点です。労働経済学をテーマにしたゼミでは、女性活躍推進について研究。女性が長期的に安心して働き続ける環境について掘り下げたことが、企業の社風や職場環境を選ぶ上で役立ちました。そして内定した航空会社の地上旅客職は、女性が多く活躍している仕事です。ゼミでの学び、調査・研究で培った課題整理と伝達力は、チームで協力し合いながら円滑に仕事を進める力になると思います。

### 公務員・教員に内定

#### 教員



実技や模擬授業を通し  
実践的な指導力を習得

小濱 達也

心身科学部(現:健康科学部)  
健康科学科

内定先 愛知県高等学校教員

高校時代の保健体育の先生に憧れ、教員を目指すようになりました。健康科学科には実技に取り組む授業がたくさんあり、身体を動かしながら一つひとつのスポーツの指導方法を学ぶことができます。特に「保健体育科教育法」では、模擬授業を通して授業展開などを学び、実践的な指導力を身につけられたと思います。教職支援センターの方から教職についてさまざまな話を聞き、教員の働き方のイメージや学校現場の様子を知れたのも、就職活動に役立ちました。今後は、子どもたち一人ひとりに自信を与えられる教員を目指します。

#### 地方公務員



法学を学び養った判断力と  
広い視野を県庁で発揮したい

大倉 圭登

法学部 法律学科

内定先 愛知県庁

公務員は、将来の選択肢として入学時から想定していた仕事のひとつでした。就職活動で頼りになったのはキャリアセンター。志望動機などの添削を通し、書面上での適切な言葉づかいを教えてもらいました。客観的に物事を判断する力は、公務員に不可欠な要素だと思います。法学部で判例を扱う授業やゼミ研究などを通して多角的な視点を養えたことは、将来きっと役立つはず。県庁の主な役割は、県民の生活や地域社会を支えるためのさまざまな施策を実行すること。どの部署に配属されても、より多くの人の役に立てるよう努めます。

### 薬学部



多職種連携医療教育で  
チーム医療の重要性を学んだ

菅 琴実

内定先 名古屋市立大学病院

小さい頃から薬剤師を目指していたため、国家試験合格率も参考にし、愛知学院大学への入学を決めました。国家試験対策の手厚さはもちろん、役立ったのは他の医療系学部の学生と共に多職種連携の重要性を学んだことです。将来どんな環境で働いて医療に貢献したいかを考える良い機会になりました。そして、臨床実務実習をきっかけに病院薬剤師を志望するようになりました。実習経験をもとに病院薬剤師としての志望動機や将来像を具体的に伝えられたことが、大学病院の内定獲得につながったと思います。経験を積んで専門性を磨き、チーム医療における薬剤師の役割を果たすことで、質の高い医療提供に貢献したいです。

### 短期大学部



口腔保健学を深く学び  
行政機関で働くことを決意

平岩 由衣

内定先 西尾市役所

歯学部附属病院での臨床実習や保育園での実習を通して視野を広げられそうだと感じ、愛知学院大学への入学を決めました。短期大学部で乳幼児や高齢者の歯科医療に興味を持ち、理解を深めた後、専攻科に進学。口腔保健学の学びを深めるうち、歯科受診者だけでなく、広く市民全体の口腔機能の向上をはかりたいと考えるようになり、行政機関を目指すようになりました。就職活動で助けになったのは、短大事務職員の方による面接練習。市民のためにどう頑張るかをしっかり考え話せたことが、採用につながったと思います。入職後は、西尾市の歯科衛生士として市民の方にわかりやすい歯科情報を届けます。

# シャチ活 チャレンジ応援金 採択コンテスト

いよいよ今年、150周年を迎える愛知学院。  
歯学部附属病院北館新設、記念講演、  
学生主体のイベントなど、さまざまな記念事業で  
祝祭ムードを盛り上げてきました。その一環として、  
学生の実学を応援するコンテストを実施。  
採択された10のプロジェクトから二つを取り上げ、  
次代を担う若者たちの可能性をご紹介します。

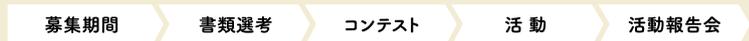
シャチ活

優れた企画を評価し資金面でもサポート

活動資金  
上限 **50万円**を  
提供!

地域社会と連携し、学生が実践的な活動  
を通して社会貢献や課題解決に取り組む  
プログラム「シャチ活」。そのアイデアと事  
業計画を評価・検討し、優れた企画に奨励  
金を支給して活動実現を支援します。

スケジュール



目的

- 学生の社会・地域連携活動への挑戦を応援し、実践的な経験を提供する。
- 地域社会との協働を促進し、本学のブランディングを強化する。
- 150周年のコンセプト「知の共創、地域との共生」を体現する。

PROJECT\_1

## 教育ボランティア

地域の小中学生との交流・  
保護者支援・指導力向上  
—石三鳥の子どもサポート

教職課程を受講する学生たちが実際に子どもたちと関わり、普通の授業で培った指導法を実践したり、いずれ教育現場で役立つ資質やスキルを養う機会づくりを目指す企画。多忙な家庭や学習に悩む子を支える「宿題支援」、学びを活用した子どもたちとの交流イベント「日本文化体験」を企画し、実現に向けて準備しました。

- 設定したゴール  
地域との連携を深め次年度以降にプロジェクトを引き継ぐ

- 応援金採択額 ..... 200,000円  
(教材費・チラシ印刷費等)



大学生と  
夏休みの宿題をしよう

個別指導計画書の  
事前共有など  
保護者への配慮も!

ほぼマンツーマンでじっくり指導

日進市・長久手市の小中学生を対象に日進キャンパスで3日間開催。子どもたちが持参した夏休みの宿題を学生ボランティアが指導すると、多くの参加者が「満足」という結果に。

満足度  
96%

成功・発展

## 日本文化を体験しよう

次世代への文化継承を目指す  
体験型イベント

書道、百人一首など7種類の体験ブースを用意。学生ボランティアが日本文化学科で身に付けた知識を発揮し、子どもたちに新たな発見と文化理解を促しました。

書道体験／扇子づくり／紙芝居の読み聞かせ  
かるた・百人一首／和紙で折り紙／俳句づくり  
昔のおもちゃコーナー

大学生と  
冬休みの宿題をしよう

好評を得て、小学生を対象を絞り冬休みにも実施すると、前回を上回る78名の子どもたちが参加。学生の負担軽減対策、レクリエーションの実施などの工夫をしました。

学食体験、ビンゴ大会など  
学生と子どもたちが  
楽しんで交流する機会も



## 活動実現への道のり

発案

企画

取り組み

コンテスト

採択!

評価ポイント

日々の学びとの  
関連性がある点

教職課程受講者を中心に、子どもたちと実際に関わる機会を創出で、実践力を養うことを目指した。

「忙しい保護者の支援」をコンセプトに宿題支援イベントを発売。楽しく勉強できる場づくりを企画。

3名のプロジェクトメンバーで会議を重ね、具体的な施策、プレゼン内容やアピールポイントを練り上げた。

内容を簡潔にまとめ、情報を精査。活動の明確な目的やメリット、実現に向けた強い思いをアピール。

代表コメント

挑戦を後押ししてくれる

採択されるか不安でしたが、周囲の支えで成功。地域交流や学生の指導力向上につながる取り組みができたと思います。このコンテストへの参加は、必ず将来の糧になるはず。後輩たちには活動を引き継ぐだけでなく、自らやりたいことにも積極的に挑戦してほしいと願っています。

文学部日本文化学科 4年  
寺田 尚布



# ロスフラワー削減

## 体験の提供や ハンドメイド小物で 花のロス問題解決に挑戦!

企業や団体と連携し、社会課題に対して学生が新商品・サービスを提案する実践科目「バーチャルカンパニー」を履修する学生たちが「花の廃棄」に着目。隠れた社会課題の認知度向上と生花店のロスフラワー（廃棄花）削減を目指し、花を身近に感じてもらうワークショップ、学内イベントでの小物販売などを実現しました。

- 設定したゴール
  - ・押し花やドライフラワーのワークショップ開催
  - ・ロスフラワーを活用した商品開発と販売
- 応援金採択額…………… 115,000円  
(試作品の材料費・花の仕入費・広告費など)

### 取り組みのアピール

京都大学で開催された、起業教育の実践見本市「ユースエンタプライズトレードフェア」に出展。ブースでの活動紹介、小物販売、プレゼンテーションなどを通し、フラワーロス問題を幅広い人にアピールしました。

### ワークショップ



### 花に触れるきっかけづくり

生花店で売れ残った花を使ったハンドメイドのワークショップを3回開催。しおりやコースター、クリスマスカードづくりなどを通し、楽しく花の廃棄問題を知ってもらいました。



リング、ヘアピン、キーホルダーなど

3日間で47名が参加  
花の魅力やロス問題について  
直接メッセージできた

### トレードフェア出展



新しい発想でものづくりに  
挑戦した事業として評価され  
「青少年と科学の会賞」受賞!

### イベントでの 小物販売

### 新たな需要創出への挑戦

ロスフラワーを使った小物などの商品を開発。地域イベント、大学のホームカミングデーなどで販売しました。消費者への意識づけに加え、新たな需要の創出につながれば、課題解決に近づきそうです。

### 活動実現への道のり

#### 発案

生花店で花束を購入した際に「花にもロス問題があるのではないか」と疑問を持ち、課題発見につながった。

#### 調査・企画

生花店にヒアリングを重ね、花の廃棄に関する現状、課題に関する意識を調査。二つの施策を企画立案。

#### 取り組み

ターゲット設定、ワークショップのプログラム立案、小物の試作、販売方法の検討、POP制作などに取り組んだ。

生花店からのロスフラワー提供  
大学ハンドメイドクラブの技術指導  
など多方面との連携で乗り切った



企画書

### 採択!

#### 評価ポイント

- ・新しい発想
- ・興味深いテーマ
- ・今後の発展に期待

#### コンテスト

事業の端的な説明に加え、色合いや文章量も工夫して資料を作成。相手を見て話す「聞きやすいプレゼン」も実践。

### 代表コメント

#### 資金確保で事業が成立

昨年度は、資金不足により事業の継続が困難になってしまいました。今回、コンテスト参加によって活動資金を確保できたのは、大きな一歩だと思っています。今後は生花店でのワークショップや小物販売を目標とし、収益性の確保と持続可能な仕組みづくりも考えていきます。

経営学部経営学科 3年  
石神 諒佳



### まだまだあります!

## 学生たちの多様な 取り組み・活動実績



### アイガクみんなと一緒に イベントシリーズ

夏休みの小学生と保護者を対象に、MKCで宿題支援やSDGs体験プログラムなどを実施。



### AGUスポーツ フェスティバル

小学4～6年生を対象に、各種スポーツを楽しむイベントを実施。次年度の継続も可能に。



### 思いよ届け! ORIGAMI アートプロジェクト

SDGsと多様性理解を目的に、来場者と折り鶴千羽を作成。SNSのフォローも増加。



### AGU×厚沢部町 地域活性化 プロジェクト

体操教室を開催し現地の方と交流。厚沢部町の魅力発信のため商品開発にも取り組む。



### 遊ゆう防災

愛学祭で初期消火体験、非常食の試食などをおこない市民の防災意識向上に貢献。

TOPICS

## 02

### 【国際交流センター主催】 English Speech Contest 2025を開催しました

「English Speech Contest 2025」は、本学学生と愛知高校生の語学力向上と異文化理解の促進を目的に毎年開催されています。2025年10月15日（水）に開かれた今年度のコンテストでは、出場希望の学生に本学教員が発音・表現・構成などを個別指導し、自分の考えを英語で表現する力を養う取り組みを新たに始めました。当日は、高校生11名、大学生9名が出演。身近な問題、世界平和、将来の夢、日本の魅力などをテーマに、熱意あふれるスピーチを披露しました。会場には緊張感とともに、出場者同士が励まし合う温かな空気が広がり、活気に満ちたコンテストとなりました。

（受賞結果）

【総合優勝】角田ジョアンナ（グローバル英語学科4年）

【高校生の部 最優秀賞】三浦瑛（愛知高等学校1年）

【大学生の部 最優秀賞】角田ジョアンナ（グローバル英語学科4年）



TOPICS

## 01

### 長久手市と包括連携協定を締結

2025年10月17日（金）、愛知学院大学と長久手市は包括連携協定を締結しました。本学で執りおこなわれた協定締結式では、長久手市の佐藤有美市長と本学の木村文輝学長が協定書に署名。締結式終了後、本学心理臨床センターの石川雅健所長より、現在長久手市と協議を進めている取り組みについての事業紹介がおこなわれました。これまでに、里山保全活動・市職員による施策に関する連携講義、各種審議会への委員派遣などを通じて協力関係を築いてきた両者。今回の協定締結により、大学施設の活用、保育士への心理支援、地域の健康づくり支援、観光事業の連携など、相互協力をさらに推進していきます。



**連携事項** (1)長久手市のまちづくり及び地域の活性化に関すること。(2)知的資源及び物的資源の相互活用に関すること。(3)地域社会を担う人材の育成に関すること。(4)社会課題に対する調査研究に関すること。(5)その他、市及び大学が協議して必要と認めること。

TOPICS

## 03

### 2025年度教育優秀賞の表彰式を実施しました

2025年12月3日（水）、日進キャンパスにおいて「2025年度教育優秀賞」の表彰式を執りおこなわれました。教育優秀賞は、教育活動において優れた業績を表彰し、本学の教育のさらなる充実を図ることを目的としています。第5回目となる今回は、左記の3名の教員が受賞しました。



（左から）鈴木一吉 准教授、長崎大 教授、藤原琢也 准教授

**健康科学部 長崎大 教授**  
クラウド型学習支援ツールにより、学生が主体的にデータ収集・分析・発表する環境を整備。理論と実践を結びつけ、独自教材や相互評価システムも構築。学生の探究心や批判的思考の育成に寄与した。

**歯学部 藤原琢也 准教授**  
歯科医師国家試験や全国模試の成績分析をもとに、合格率向上に向けたカリキュラム改善と支援プログラムを構築。教育の質向上に大きく貢献し、教育活動において優れた業績を挙げたことが評価された。

**短期大学部 鈴木一吉 准教授**  
異なる専門職をめざす学生が協働する環境を構築し、多職種連携教育を推進。全学年への導入、他大学との連携も展開。また、約1万人超の学生への教育実績と教材作成への中心的貢献が高く評価された。

TOPICS

## 04

### 学年横断型キャリアデザイン教育 ―未来を創造できる薬剤師養成プログラム― 始動!

学生が自分の強みを見つけ、将来を主体的に切り拓く力を育てることを目指す薬学部。今年度から始動した本プログラムは、2～6年生の期間をかけて取り組む体験型学習もおこなわれます。第1回の講義では、山本教授によるカリキュラムの目的や意義についての説明に続き、木林キャリアアカウンセラーによる「マナー・コミュニケーション講座」を実施。学生たちは社会人基礎力としてのマナーや対人スキルについて学びました。第2回は、株式会社マイナビより講師を招き「薬学業界研究講座」を開催。卒業後に活躍できる多様なフィールドへの理解を深めました。今後は、さまざまな分野で活躍する卒業生による講演会なども予定。学生が将来のキャリアを自ら描ける機会をさらに広げていきます。



参加した学生の感想

「人との関わり方が医療現場で重要だと再認識した」「視野を広げることが後悔のない進路選択につながると思った」「薬剤師になるためにすべきことを主体的に考え、正しい知識と広い視野を持ち行動したい」

## 経営学部油井ゼミで開発した「傘を自立させる装置」が 愛知県発明協会会長賞を受賞しました



2025年11月19日(水)、ANAクラウンプラザホテル富山で開催された中部地方発明表彰の表彰式において、経営学部油井ゼミで開発した「傘を自立させる装置(意匠登録第1754913号)」が愛知県発明協会会長賞を受賞しました。本意匠が採用された「KASATATSU」はスマイルキッズ株式会社(大阪市)から2023年5月に発売され、その販売実績により日本最大の製品開発コンペティション「SCALE」で総合優勝したことが、審査委員会の好評を得ました。さらに、フジテレビ「ぽかぽかのクイズコーナー」で取り上げられるなど、多くのマスコミ掲載実績も注目を集めました。例年、中部地方発明表彰の多くは民間企業の研究開発による特許が受賞対象となる傾向にありますが、文系の学生(意匠登録時)が発明者に名を連ねることは非常にまれです。受賞をきっかけに、「KASATATSU」が多くの方の手に届き、快適で幸せな生活につながることを期待されます。

## 成道会・涅槃会の法要を挙行

2025年12月8日(月)に成道会、2026年2月13日(金)に涅槃会をキャンパスそれぞれで挙行。法要後には、導師を務められた木村学長による法話がありました。成道会とはお釈迦様が開かれたことをお祝いする日、涅槃会はお釈迦様がなくなりなられた日です。曹洞宗の宗門関係大学である本学では、年に5回(降誕会・両祖忌・達磨忌・成道会・涅槃会)法要をおこなっており、学生をはじめ、どなたでも参加可能です。当日は、曹洞宗からのお菓子の配布もあります。お時間のある方は、本学ならではの行事にぜひご参加ください。次回は4月8日(水)に降誕会を実施予定です。



## 健康栄養学科1年生が 「精進料理」を学ぶ特別実習を実施

2025年12月12日(金)、「精進料理の会」が健康科学部健康栄養学科1年生の「応用調理実習」の一環として開催されました。曹洞宗青年会の皆様のご指導のもと、伝統的な精進料理の理念と調理技法を学ぶ貴重な機会。学生たちは、動物性食材を使わず素材本来の味を生かす調理法や、食事に込められた「命をいただく」という仏教的な考え方について理解を深めました。実習後は、料理を囲みながら食の文化や心のあり方について意見交換。授業の最後には坐禅も体験し、心身を整えるひとときとなりました。本学では、こうした体験型授業を通じて、栄養学の専門知識だけでなく、食文化や倫理観を含めた幅広い視野を育むことを目指しています。



## 令和7年度クラブ表彰式・祝賀会がおこなわれました

1月7日(水)、日進キャンパスけやきテラス2階にて、大学後援会主催「令和7年度クラブ表彰式・祝賀会」が開かれました。今年度のクラブ活動で特に顕著な成績を収めた15クラブと個人63名を表彰。祝賀会では温かな雰囲気の中、柴田軒吾大学後援会会長、木村文輝学長、田中淳子学生部長から激励と労いの言葉が贈られ、学生を代表して柔道部の梅屋丞生さん(商学部商学科4年)が謝辞を述べました。来年度のさらなる活躍を期待しています。



柴田軒吾 後援会長



木村文輝 学長



梅屋丞生(商学部商学科4年)

TOPICS 06

TOPICS 05

TOPICS 08

TOPICS 07

# 150th NEWS FILE

記念事業やイベントなどさまざまな取り組みが活発におこなわれ、愛知学院創立150周年式典に向けた気運を盛り上げています。

## key visual

愛知学院創立150周年キービジュアル完成!



愛知学院が積み重ねてきた150年は、学生・生徒・卒業生・教職員一人ひとりによって彩られてきました。一つひとつの色が重なり描いた大きな円＝縁は、一人ひとり皆が主人公であることを表現しています。

### REPORT

## 創立150周年記念事業「リレーマラソン大会」を開催

2025年12月6日(土)、日進キャンパスにて初のリレーマラソン大会を開催しました。大学関係者、愛知中学校の生徒など約100名の参加者が挑んだのは、大学の前身「曹洞宗専門学支校」の開設年にちなんだ1,876mの特設コース。天候にも恵まれた絶好のコンディションの中で、ランナーたちは気持ちの良い汗を流しました。個性豊かな衣装で走るチームもあり、笑顔と歓声に包まれた会場。参加者からは「走って楽しかった!」「次回は優勝を目指したい」などの声が寄せられ、イベントの盛り上がりを感じる一日となりました。表彰式では、第5位までのチームに賞品を授与。さらに、会場を盛り上げた印象的なチームには「仮装賞(学長賞)」も贈られました。

順位	チーム名	記録
優勝	タイミー同好会	00:33:04
準優勝	愛中陸上部スパーク	00:35:03
第3位	しみいず	00:36:03



### NEWS

## 愛知学院大学 フォトコンテストを開催

愛知学院創立150周年を記念し、初の試みとしてフォトコンテストを開催。各キャンパスの建物・風景・学生生活など、愛知学院らしさを感じる写真を、在学生・卒業生などから広く募集しました。2025年12月8日(月)～2026年1月13日(火)の期間中に寄せられたのは103の作品。応募者それぞれの視点で切り



取られた学生生活やキャンパスの名シーンが揃いました。審査選考の上、優秀作品を決定。本学公式サイトで発表するほか、大賞受賞作が表紙を、その他の入賞作品が各月を飾るオリジナル卓上カレンダーを制作し、記念品として配布します。思いの詰まった作品をぜひお楽しみください。

◀大賞作品

### NEWS

## 歯学部附属病院 北館完成

2025年12月3日(水)、歯学部附属病院の「北館 落成式」がおこなわれ、来賓の広沢一郎名古屋市長から祝辞を賜りました。附属病院の強みは、難治性歯周病に対する人工骨・自家骨移植を併用した再生医療の実施や、歯科・内科・放射線科の専門医によるカンファレンスで最適なインプラント治療方針の決定ができる点です。また糖尿病と歯周病の関連に着目し、同一施設内で検査・治療が受けられる体制を構築しています。北館の開設により医科診療部門を大幅に拡充し、従来から強みとしてきた医科歯科連携をさらに強化。地域医療の質向上と先進的な医療の促進を目指します。



### REPORT

## 愛知学院創立150周年記念×なごや環境大学20周年記念 産学官民4連携 SDGs親交シンポジウム「スクリーンから始まる共創」開催

2025年11月1日(土)、なごや環境大学との共催により産学官民SDGs親交シンポジウム「スクリーンから始まる共創」を開催しました。2030年のSDGs達成に向けた取り組みのリミットが残り5年となった節目に、持続可能な未来への行動と挑戦、共創につなげる機会を広く産学官民で共有することを目的として企画された催しです。メインコンテンツは、オーストラリアの映画『2040 地球再生のビジョン』の上映。子どもたちのインタビューをもとに、CGやポップな映像を交えて地球の再生についての未来予想図を描くドキュメンタリーです。また、名古屋市のSDGs活動紹介、専門家による基調講演、クロストーク、産学官民連携による自由交流会なども実施。明るい未来に向けて、多くの人が意識を共有する機会になったようです。

